

検査日		病院名	
氏名		診療科	
I D番		担当医	
生年月		検査部	腹部
年齢		造影剤	イオパミロン
性別		フィル	12枚

所見

< 腹部造影CT >

1) 肝臓: edgeがdullで萎縮し肝硬変の所見です。ご指摘の病変はumbilical portionからS8までび慢性に広がっています。門脈内にも浸潤し、未分化のHCCを疑います。治療法としてはリザーバー挿入や放射線治療が挙げられます。脾臓、膵臓、腎臓など上腹部も正常範囲内です。

2) 胆嚢: 胆石(+) 壁肥厚は軽度

3) 腹水及び胸水の貯留は観察されません。

4) 消化管に明らかな拡張は観察されず、腫瘍性病変は認められません。

【まとめ】

肝硬変
浸潤性HCC(VP2)

画像

